

常葉グリーン・プロジェクト2024 in 浜松キャンパス



キーワード

節電・地球温暖化・気候変動

○取り組んだきっかけ

SDGsに関する注目度は年々高まっており、多くの企業や地域、国、さらには世界規模でその取り組みが行われています。しかし、認知度は高まっている一方で、「実際に何をしたら良いのか分からない」「自分にはハードルが高い」と考え、一歩踏み出せずにいる人が多いと感じていました。その時、学生会が「常葉グリーン・プロジェクト」に参加していることを知りました。

学生会が主導となって、節電という、身近で行いやすい取り組みをすることで、学生でも簡単にSDGsの取り組みに参加できることを知ってもらえると考え、このプロジェクトに参加しました。

○活動の目的

学生である私たちが主体となって節電を呼び掛けることで、学生でも簡単にSDGsの取り組みに参加できるのだと知ってもらうことです。また、学生と学校が一体となって活動を行い、大学全体で持続可能な社会の実現に貢献することを目的としました。



○具体的な内容

多くの学生に節電を呼び掛けるため、「常葉グリーンプロジェクト強化月間（7月・12月）」を設定し、主に以下の3つの取り組みを行いました。

1つ目の取り組みは、館内放送による「節電」への呼びかけです。放送では、

- ①教室使用後の、電気の消灯・エアコンの停止
 - ②自習や空き時間は学生ホール・図書館など共同スペースを利用することの推奨
 - ③エアコン使用時、冷房は28度に設定すること
- 以上3点を呼びかけ、無駄な電力の削減に尽力しました。

2つ目の取り組みは各教室の見回りです。節電を呼びかけるプラカードを持ち、エアコンや電気の消し忘れがないか、教室を確認しながら回りました。徐々に電気をつけたままの教室やエアコンが消されていない教室が減り、「節電」の意識が広まっていることが実感できました。

3つ目の取り組みはポスターの作成・掲示です。教室のエアコンや電気のスイッチ付近に、スイッチをこまめに消すよう促すポスターを掲示しました。放送や教室を回っての呼びかけだけでなく、ポスターを掲示することによって節電への呼びかけが見える化し、より学生一人ひとりに節電の協力をしてもらえるよう、工夫しました。



○期待される効果

「常葉グリーン・プロジェクト」によって、電気やエアコンの消し忘れが減少し、無駄な電力を減らすことが出来ました。今後、この活動によって学生が「節電」、さらには「SDGs」に興味・関心を持ち、今後、積極的に「SDGs」に関する取り組みに参加してくれることが期待されます。

大城 暖生

経営学部経営学科 2年
浜松キャンパス学生会 所属

連携先

- ・常葉大学浜松キャンパス
- ・常葉大学浜松学生課